

## 平成27年度 基礎医学ユニット研究活動状況

### A. 構成メンバー

大島 稔、大西基代、樫葉 均、東家一雄、  
戸田静男、深澤洋滋（五十音順）

### B. 研究活動の概要

基礎医学ユニットは、それぞれ専門とする領域で活動していたメンバーにより構成されているため、個々独立した研究テーマを有している。従って、ユニット全体としての研究テーマを持っていないので、以下に各教員の「研究テーマ」を記しておく。

大島 稔：皮質投射系の研究

大西基代：高速液体クロマトグラフィーを用いた生理活性物質の分析

樫葉 均：脊髄後角における局所神経回路の形態学および電気生理学的解析

東家一雄：リンパ系組織を対象とする機能形態学的研究

戸田静男：(1) 活性酸素障害および抗酸化作用物質の研究  
(2) 東洋医学について古医書からの研究  
(3) 生薬成分の研究

深澤洋滋：慢性炎症の中でも神経因性疼痛に焦点当て、実験動物モデルを用いてその発症機序の解析を行っている。

### C. 研究業績

#### 著書、総説

大島 稔：柔道整復師国家試験 過去問題+要点テキスト2016年度版、松原勝美他（編者）、第1版、久美出版、2015年。

大島 稔：はり師きゅう師国家試験 過去問題+要点テキスト 2016年度版、松原勝美他（編者）、第1版、久美出版、2015年。

#### 原著

Takeda A, Kobayashi D, Aoi K, Sasaki N, Sugiura Y, Igarashi H, Tohya K, Inoue A, Hata E, Akahoshi N, Hayasaka H, Kikuta J, Scandella E, Ludewig B, Ishii S, Aoki J, Suematsu M, Ishii M, Takeda K, Jalkanen

S, Miyasaka M, Umemoto E. : Fibroblastic reticular cell-derived lysophosphatidic acid regulates confined intranodal T-cell motility. *eLIFE*. 2016 Feb 2;5. pii: e10561. doi: 10.7554/eLife.10561.

Hata E, Sasaki N, Takeda A, Tohya K, Umemoto E, Akahoshi N, Ishii S, Bando K, Abe T, Kano K, Aoki J, Hayasaka H, Miyasaka M. : Lysophosphatidic acid receptors LPA4 and LPA6 differentially promote lymphocyte transmigration across high endothelial venules in lymph nodes. *International Immunology*, 2015 Dec 29. pii: dxv072.

Kobayashi Y, Kiguchi N, Fukazawa Y, Saika F, Maeda T, Kishioka S. : Macrophage-T cell interactions mediate neuropathic pain through the glucocorticoid-induced tumor necrosis factor ligand system. *J Biol Chem*. 2015 May 15;290 (20) :12603-13. doi: 10.1074/jbc.M115.636506. Epub 2015 Mar 18.

深澤洋滋：国家試験問題から学ぶ臨床の要点、東洋医学臨床論第31回、医道の日本、74（7）、182-183、2015。

#### 学会発表

樫葉 均、清行康邦：下行性疼痛抑制機構に関するパッチクランプ法による解析－5-HT/アドレナリン受容体の膜電流応答－、第64回全日本鍼灸学会、福島、2015.5。

国松佳子、戸田静男：消渴について、古医書からの一考察（続報）、第64回全日本鍼灸学会学術大会、福島、2015. 5。

#### 報告、その他

樫葉 均 教育講演：痛みにまつわる物質と神経細胞の話、第67回日本良導絡自律神経学会学術大会、京都、2015. 10。

國松佳子、戸田静男 報告：古医書からの一考察、関西医療大学紀要 9、10－22、2015。

深澤洋滋：2014年度世界鍼灸学会連合会学術大会inカナダ・トロント開催、医道の日本、74（11）、55、2015。

若山育郎、石崎直人、齊藤宗則、深澤洋滋、増山祥子、知久すみれ、形井秀一：WFASトロント大会報告、全日本鍼灸学会雑誌、66（1）、43-51、2016.

#### 科研費

檜葉均（研究代表者）：脳幹からの下行性抑制ニューロンは脊髄後角の深層ニューロンを興奮させる 文科省科学研究費補助金（基盤研究C、平成26年～28年度、課題番号26462386）